



学校だより

教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく

◇花と歌と笑顔あふれる学校◇

■発行日 平成29年11月1日
■発行 さいたま市立栄和小学校
さいたま市桜区栄和1-7-1
Tel 048-853-4022

HP <http://sakawa-e.saitama-city.ed.jp/>



「地域があって学校がある」

校長 濱崎 泰行

校庭の木々も色づきはじめました。いつの間にか月日は経ち、11、12月とカレンダーも残すところ2枚となりました。

さて、10月24日（火）、土合西愛育会の方、27名が小学校3年の児童を対象にわら細工作りの講師としてご来校いただきました。3年生の総合的な学習の時間「わらとくらし」の学習の一環です。今年で約20年の歴史のある教育活動です。「馬」と「てっぽう」を児童一人ひとりが、地域の方の指導のもとわらでつくりました。「てっぽう」とは、持ち手を輪の形にし、その先のわらでモグラを叩いて追い払うための道具だそうです。当時の農業用具の一つだったそうです。以下児童の感想です。「一生の宝にする。」「同じわらでも馬に合うわらとてっぽうに合うわらがあるなんて気が付かなかった。」「難しかったけれど、地域の方が優しく教えてくれたからなんとか作ることができた。」

3年生210名分のたくさんの上質なわらを集めていただいたり、児童の活動に合わせて多くの貴重な時間を割いていただいたり、感謝の気持ちでいっぱいでした。

本校は保護者や地域の方、桜区図書館等の関係機関の方に多くの教育活動や安全面でご支援いただいております。過日の就学時健康診断では、図書ボランティアさんに新入学児童の保護者にパネルシアターを上演していただきました。大きな白いスクリーンに絵本の登場人物等を貼りながら読み聞かせするものです。健診の翌日には低学年の児童にも上演していただきました。作製までに多くの時間を割いていただきました。その他、毎日の登下校の見守り。雨の日も風の日も街頭に立ち、児童の安全を見守っていただいております。5年生の家庭科のミシンのお手伝い等、紙面に載せきれないほど、多くの活動でご支援いただいております。

児童はこうした教育活動を通して、多くの地域の大人から見守られて自分たちが育っていることを実感することでしょう。また、地域を誇りに思い、地域を愛する気持ちがより一層育つことでしょう。「自分が自分の地域を愛するのと同じように、他の人も自分の地域をきっと愛しているはずだ。」この気持ちが、異文化や他人を大切に思う気持ちにつながると思います。国際化が進む中でこうした気持ちを児童に培うことはとても大切なことと思います。

本校の校庭の東側のフェンスには「他人の子を わが子と思う親心」(栄和青少年育成会)の看板があります。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます。